

タイトル『呪いと殺しは食反の 夕ネ』

著者：鳥丸 尚奇 出版社：宝島社文庫

この本は、小説でミステリアスのような印象を持ちました。

読んでいる時も、この後の展開はどうなるのかな?のような

すごい次のページが気になるような感じで、ミステリアス小説

が好きな僕は、どんどん読み進めてもうからこそ

すごい作品だな!と思りました。内容をどうね、

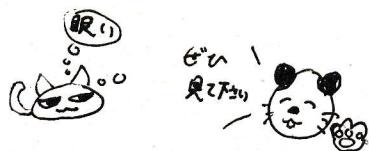
ネタバレになるたまに言いませんが、自分は見て本当に

大もうろこ思ひう作品になっていたります。

みんなもぜひ、気になるたら手に取って読んで

みてくださいさい。ハマるには、ハマるような

作品です。



投稿日 2029年11月6日

ペンネーム(本名は書かないでね!)

年齢

14

ハーナ(じゅう)

仙台市 太白図書館 YAコーナー